

一般質問

◆ふるさと未来創造部の新設について

質問 協働事業推進課所管の事業の費用対効果について伺う。

答弁 事業ごとの成果や効果については今後の検証となるが、自治組織と地区センターの一体的な連携による地域づくり体制の強化、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による移住施策や関係人口の創出、若者などへの支援が成果として挙げられる。

質問 道路の破損や街灯の故障などをスマートフォンなどから投稿し、解決に結びつける「まちもんゆざわ」があまり活用されていない現状について伺う。

答弁 素晴らしいシステムなのでもっと活用していただけるように努力していく。高齢の方などが対応できないときは、周囲の人が代理報告できるような仕組みづくりに取り組む。

質問 地域自治組織支援職員制度の現状について伺う。

答弁 各地域自治組織に支援職員を配置し、市職員の専門的な知識と情報を提供し共有するこ

とで、市民の皆さまによる主体的な地域づくり活動を支援している。今年度は459人の職員を支援職員に任命し、1年に1回以上、必ず自治組織の活動に加わるような体制を整備している。

◆中心商店街のにぎわい創出について

質問 湯沢市プレミアム付商品券の効果について伺う。

答弁 現在のところ、市外資本の店舗に比べ、地元資本の店舗の換金額が若干多い結果となっており、地元応援券の導入により、地元資本の店舗での消費喚起につながっているものと推測している。経済効果を判断するために、事業終了後の聞き取りやアンケート調査などの実施を検討している。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧いただけます。

寺田 純二 議員

◆新年度予算編成について

質問 アフターコロナ・ウイズコロナ対策の必要性に対する考えを伺う。

答弁 長期化するコロナ禍における新しい生活様式に対応するため、アフターコロナ・ウイズコロナ対策は急務と考えており、令和4年度当初予算編成において対策関連事業を検討する。

◆ふるさと未来創造部の設置について

質問 「ふるさと未来創造部」における各総合支所の果たす役割や位置づけについて伺う。

答弁 各種行政手続きの窓口業務のほか、まちづくりを担当する部署の中で連携しながら、それぞれの地域の特色あるまちづくりや、地域課題の解決にむけた支援、各地区センターの管理運営に関する業務を担うこととされている。

◆学校給食について

質問 コロナ禍において子育て世帯への手厚い支援が必要とされている中、給食費の増額改定は一年先送りすべきと考えるが。

答弁 栄養基準などを維持するためにも今改定しなければならぬ。コロナ禍で大変な世帯に対する支援は別個に対応していきたい。

質問 増額分を市で負担できないのか伺う。

答弁 検討はしたが、原則として食材費の実費は保護者に負担していただくこととしたい。

◆第2次湯沢市地球温暖化対策実行計画について

質問 「ゼロカーボン宣言」について検討されているのか伺う。

答弁 本市の地熱発電はクリーンエネルギーの最たるものであると認識しており、地熱と絡めて宣言できないか庁内で検討しており、間違いない宣言させていたただきたい。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧いただけます。

高橋 肇 議員